

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 873

所管部局	福祉部	所管課	健康課	担当者名	小林 早苗
事業名	介護予防普及啓発事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	介護予防普及啓発事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 1.介護 - 1.介護		

1. 事業の概要

65歳以上の高齢者対象に、健康相談を実施した。（結果報告会）
 又高齢者に3ヶ月間、週1回のプール教室を2クール実施し、生活習慣の改善と介護予防事業を行った。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

高齢者が自立した生きがいのある生活を続けていく為に、介護予防を図る。

②事業を実施する必要性

本市においては、高齢化が進んでおり、本事業を実施することで、生活習慣病を予防し健康寿命の延伸を図る。水中ウォーキング等の運動は、高齢者に多い膝のトラブルを緩和する。運動により筋力の低下を防ぎ、積極的に外へ出て要介護状態とならないよう予防することで、生きがいのある自立した元気な老後の生活を継続する。結果として介護保険料の負担軽減への効果も期待される。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円			340	624	924	1,017	1,017
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			89	338	552	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	187	277	305	305
	国・府支出金	千円			0	234	346	381	381
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			340	203	301	331	331
職員等の従事人員		人/年	-	-	0.12	0.71			
人件費		千円	-	-	733	4,845			
事業費総額		千円	-	-	985	5,132			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

健康相談（結果報告会） 390,171円（賃金消耗品）
 健康プール教室 233,772千円（賃金 委託料）

5. 事業結果の概要

<健康相談>
 市民健診受診者の約半数(本人・家族)のかたに健結果報告会の場で康相談を実施している。
 <健康プール教室>
 自身の健康や介護予防等に関心のある方の、身近な運動実践の場となっている。

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
結健康相談		
市民健診後、結果報告会とあわせて生活習慣病予防及び介護予防の為の健康相談を実施した。	実施期間：平成21年6月4日～7月28日(25日間)	結果報告会：本人健康相談 2,170人(内、65歳以上 1,381人) 家族への相談指導 469人 (検診受付人数 5,383人)
健康プール教室		
65歳～74歳以下のシニア・初心者向けコース：週1回(金曜日)×10回を2クール 場所：スプリングス日吉の温水プール 内容：インストラクターによる水中ウォーキング等	1期：平成21年9月～12月 実施回数 12回 2期：平成22年1月～3月 実施回数 10回	参加人数 1期：86人(延736人) 2期：50人(延360人) 合計：136人 (延1,096人)

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

水中での運動を通して、陸上での運動をしにくい人にも運動の習慣を身につけていただき、生活習慣病の予防を図ることを目指して1期、2期に分けて実施した。136名の参加があり、参加者の97%が参加して良かったと回答しており、大変好評であった。また、64%と半数以上の人が身体的な何らかの変化があったと回答しており、効果も実証された。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
参加者が出来るだけ参加しやすい教室とするため、実施時期・期間、回数、プログラム等について事業者と打ち合わせた。
- ②当該事業のアピール事項
参加者の幅広い年齢層、経験・未経験、勤務形態に弾力的に対応できるように、三つのコースを設けて実施した。